

# 栃木クライマーズミーティング (TCM)

## 第1回 報告書

(文責：宇都宮溪嶺会 久池井 豊)

## 1. はじめに

昨年、宇都宮にて行われた馬目さんの講演に触発されて、ウィンタークライマーズミーティングをまねて、クライマーズミーティングを地元・足尾にて開催した。その際、大変盛り上がったため、今回、第一回と称して、有志による「栃木クライマーズミーティング」を改めて足尾にて開催した。

## 2. 日時

2010年7月24-25日

スケジュール（詳細は、山行記録を参照のこと）

7/24 06:00 銅親水公園集合 – ウメコバ沢にて登攀 – 18:00 駐車場付近にて宿泊

7/25 06:00 ジャンダルムにて登攀 – 14:00 銅親水公園解散

## 3. 参加者

下記の通り

1 CL	久池井 豊 (宇都宮溪嶺会)
2 SL	谷嶋 真一 (宇都宮溪嶺会)
3	上小牧 憲弘 (宇都宮溪嶺会)
4	植木 孝 (矢板岳友会)
5	稲葉 龍太郎 (遠峰山岳会)
6	藤井 大輔 (遠峰山岳会)
7	大山 俊和 (グループドミソジ)
8	手塚 一夫 (グループドミソジ)
9	馬目 弘仁 (無所属)

\*久池井は、急遽、所用にて初日の朝の挨拶のみ参加

## 4. 会計報告

収入: 一人@1400×8=¥11,200

支出: ¥11,200

内訳 食料 (夕飯・朝食) ¥11,200

(焼肉・うどん・ラーメン・etc)

## 5. 山行報告 (原文のまま)

矢板岳友会・植木さんより

### ■松木・ウメコバ・ジャンダルム・岩登り

《山行日》10/7/24(土)～7/25(日)

《参加者》馬目、久池井、大山、手塚、谷嶋、上小牧、稲龍、藤井、植木(報告植木)

《日程》・7/23(金)氏家22:10—銅公園23:40(泊)

・7/24(土)銅公園6:20～ウメコバ沢各パーティー登攀～銅公園(泊)

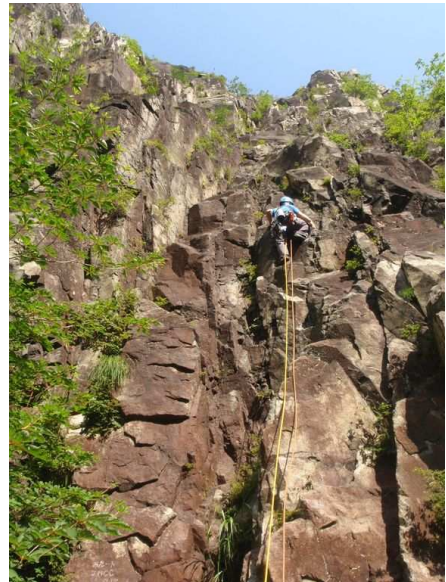
・7/25(日)銅公園4:30/6:00～ジャンダルム各パーティー登攀～銅公園

《概要》久しぶりのアルパイン、充実しました。

《内容》・7/23(金)私はTCM(栃木クライマーズミーティング)に参加するほどのものではないのですが、上小牧さんに「一緒に登ろう」と言ってもらい前向きな気持ちで参加しました。稲龍さんと一緒に銅公園に着くとほどなく馬目さんも登場し軽く一緒に飲みました。明日早いということで寝ましたが、夜半からどしゃ降りになり、パンツまでぐっしょりで朝を迎えました。

・7/24(土)くっちーさんは都合が悪いのにわざわざ出向いて顔合わせを進めてくれました。パーティーは馬目藤井が大凹角に、大山手塚がR6滑り台と大凹角に、稲龍上小牧植木が稲龍さんがリードでJMCC右ルートに行くことにしました。登りだすと太陽がとても暑くほとほと参りました。日陰のR6滑り台がうらやましいです。でも、2ピッチ終了点の木陰が気持ちよいです。ここからが核心、クラックから右のフェイスに出て登りました。限界までは難しくなかったのので何とか登れました。良かったです。次にR6滑り台に向かいましたが、雨が降ってきそうなのでやめました。そしてみんなを待って、そそくさと下山して大宴会に突入しました。夜はどしゃ降りでしたが、安全地帯なので快適でした。

・7/25(日)朝はコーヒーでしょう。おいしいです。みんなで協力して片づけてジャンダルムに向かいました。馬目稲龍、谷嶋藤井、上小牧植木で登りました。チョコクス



トンルートは核心がチトしょっぱかったです、いつもの通りに。ガレの下りでは谷嶋さんにお世話になりました。きょうはきのう以上に雷が早いとの予報なのでお昼には上がりました。枝沢に冷やしておいたきゅうりとスイカが格別でした。

来年のTCMは6月最初の土日に行きましょう。そして、秋にもやりましょうと思いました。そして「WCMを野門で」なんつー話も出て盛り上がりました。



ミソジ・大山さんより

---

6月6日、4月に痛めた腰もようやく良くなったので、今年初めてのウメコバに入ったが、スーパーフレクスの1ピッチでグランドホール。左の踵を痛め、その3日後には左足を肉離れとケガが続き、ほぼ2ヶ月ぶりのクライミングとなった。

ケガは、出来ないという緊張感からか体が硬い。今回、新しく当会（ミソジ）に入会した手塚さんとザイルを組む事になった。最初、慣らしを兼ねR6スベリ台、特に問題はなかったが、クライミングシューズが足に合わずつらい。続いて、手塚さんのリクエストに応え凹角ルート、この時期だと暑さがこたえるが、スムーズに登ることが出来た。午後1時前に取付点まで下山、昼食をすませ、まだ時間があつたので、手塚さんにチョコちゃんルート1ピッチのみリードしてもらおう。松木初リードである。初めてのせいかランニングビレーのやり方に課題を残したが、初体験はなにかにつけ大切なものである。今回、溪嶺の久地井君の誘いで、この栃木クライマーズミーティングに参加させてもらったが、クライミング・酒飲みと楽しい経験をさせてもらった。また、長野から来てくれた馬目さんも、ウメコバを気に入ってくれた様で、機会があればまた足をのばしてもらいたい。

今後の課題

- 1.継続は力、これから四季を通し、クライマーズミーティングを開催したいものである。
- 2.山ばかりでなく、たまには下界でいろいろな情報交換をし、酒飲みでもやろうか？仲間を増やそう。
- 3.クライマーズミーティングの開催を、各クラブごとに交替で行なうのも面白いかも。

4.いろいろあるけど、とにかく年内中にもう一度出来たら...いいな。

遠峰・稲葉さんより

---

## ■■山行報告■■

■足尾／松木沢・ウメコバ沢、ジャンダルム

《山行日》2009/7/24～25

《参加者》馬目、久池井、大山、手塚、谷嶋、上小牧、植木、藤井、稲龍（報告者：稲龍）

《日程》

7/24；銅公園発（6：20）→林道終点...ウメコバ沢中央岩峰・JMCC 右ルート...林道終点～銅公園にて懇親会

7/25；銅公園発（6：00）→林道終点...ジャンダルム・チョックストーン～天狗岩ハンダルート...ショートフリー...林道終点→銅公園着

《要約》昨年に続き参加できて良かった。世界的なクライマー馬目さんともザイルを組めて良い刺激になった。やっぱりウメコバは面白い。冬にも使えそうとの話も出て今後が楽しみです。

《本文》

前夜から植木さんと銅公園入り。少し遅れて馬目さんも到着したので一緒に少し飲む。夜中にゲリラ豪雨に襲われ私のボロテントは浸水。パンツが濡れて嫌だが眠気が勝りそのまま寝る。馬目さんは車に避難したようだ。

24日 晴れ

全員集合する頃から空が晴れ始め、今日も暑くなりそうだ。軽い自己紹介をしてTCM開催。準備から差し入れまで久池井さんには頭が下がる。各自準備をしてウメコバへ向かう。私は上小牧さん+植木さんの3人でJMCC 右へ。久しぶりのマルチでドキドキする。藤井は運良く馬目さんと大凹角。2人とも初見でさぞ楽しめるだろう。しかし暑い、早くも岩が鉄板状態だ。核心のピッチから上は右寄りに抜けるラインを登る。支点が取れないのでランナウトするがブッシュがなくスツキリしている。V-くらいあるか？目一杯伸ばせばいつもの終了点に合流。頂上で小休止してからルンゼを下降、岩峰沿いの下降路が一部崩壊して下り難くなっていた。ルンゼをそのまま降りた方が良さそう。

沢で休憩後、R6 滑り台に取り付くが雷雨の心配があり止める。でも結局馬目さん達を待っている間降らなかったから登れたようだ。気力、体力不足でモチベーションが足りない。反省。

25日 晴れ

今日は午後から雨の予報なのでジャンダルムで登る。馬目さんと組んでチョックストーンからマッチ箱の左カンテのフリールートを登る。早くも腕が張ってしまった。懸垂で降りてから天狗岩ハンダルートに繋げる。馬目さんの登攀スピードが早く計4ピッチがアッと言う間に終わる。ルンゼを歩いて降りてからショートフリーへ。「ON THE EGDE」を馬目さんオンサイト。私が左上ルートをやってから、ほぼ同じところにある「S字クラック」（仮称）を、全てナチュプロでこれまたオンサイト。5.10cくらいあるそうです。良い目標ルートになりそう。続いて「バースト」もオンサイトし体力抜群です。私がマングース

TRYしているところに上小牧さんの墜落を谷嶋さんが連絡しに登ってきて急遽下山する。心配しましたが林道終点では冷えたスイカに頼る姿に安心しました。よかった。個人的には登れていない状態での参加で、すぐに気力が萎えてしまいました。やはりマルチを2本くらいサクサク継続できるくらい登り込んで、次回は参加出来る様、頑張ります。

遠峰・藤井さんより

---

栃木クライマーズミーティングとても面白かったです。  
初日は馬目さん、二日目は谷嶋さんとザイルを組ませていただきました。  
お二人からは、いろいろと学ばせていただきました。ありがとうございます。

初めてのルートを初めての人とザイルを組んで上るのは、とても緊張しましたが自分のクライミングを考えるいい機会になったと思います。

夜は夜で、おいしい肉と酒をたんまりご馳走になりました。  
(東屋で雑魚寝はびっくりしましたが。)

とても有意義な二日間でした。  
本当にありがとうございました。また呼んでください。

溪嶺・谷嶋さんより

---

所用で土曜日の懇親会からの参加となった。懇親会も会場に着いたのが22時近くなり、皆さんほとんどお休みの状態。起きていた稲葉氏に聞けば、昼の暑さに相当やられた模様。特に大凹角は日陰もなく、相当暑かったようだ。500g残してあった焼肉を完食し、明日に備えて就寝。

日曜は、午後に寒気が入って雨が予想されたため、アプローチの近いジャンダルムで登ることとする。靴のままで躊躇せずに渡渉する上小牧さんの大胆さに、馬目さんもちよつと驚く。パーティー編成は、前日と組み合わせを変えて、馬目／稲葉、上小牧／植木、藤井／谷嶋とした。

一緒に組んだ藤井さんはジャンダルムの看板ルート？天狗岩ハングルートに行ったことがないということで、正面から天狗岩ハングルートに行くこととした。馬目／稲葉パーティーはローソク岩から天狗岩ハングルートに繋げるようだ。待たせないよう急いで先行するが、やはり途中で追いつかれてしまった。天狗岩ハング部は先を譲って写真を撮ることにする。気持ちよさそうに抜けた二人に続いて天狗岩ハングに入る。何度も来ているが、ハングのところは三次元的で楽しいルートだ。上小牧／植木パーティーも、チョックストーンルートから天狗岩ハングに入ってきた。

終了点からは、回り込んで歩いて下山することとした。上部を下山途中、途中で「ガシヤン」という音がある。ギアを落としたか、フォールした音のようだ。少し降りて右手に天狗岩を見ると、上小牧さんがぶら下がってロープが片方弛んでいる。フォールしたなど思い、離れた所から声をかけるとつらそうだ。天狗岩ハングの上部へ戻って聞いてみると、肋骨が折れているらしい。何とかサポートして易しいルートで登り、一部ロープを出しながら、歩いて下山した。取り付きの広場から上小牧さんに自力で歩いて下りてもらい、馬目／稲葉 P を呼んで下山。途中で冷やしたスイカを食べながら反省会をし、駐車場へ戻った。今回は1本しか登れなかったものの、怪我した仲間のサポート等、とても勉強になった。特に体力が残っていないと、面倒だなどと思って動きが鈍くなる。山ではやはり体力がモノを言うなど再確認した。

馬目さんより

---

## 栃木県CM 報告書

文責：馬目 弘仁

### 1、クライミング報告

7月24日 エリア：ウメコバ沢中央岩壁 パートナー：藤井さん

#### ① 正面壁凹角ルート

ブツ立ちの傾斜に6Pのスケールと素晴らしいクライミングが楽しめました。クラックが豊富なことから、トラッドスタイルで登りました。結果は出だしで残置ピトンを一回使用したのみ、ハンマーレスで十分プロテクションがとれました。グレード=5.8 となっていますが、それ以上の緊張感と充実感、そしてロケーションの素晴らしさがありました。是非、冬にも登ってみたいものですね。

#### ② 左岩壁のすっきりしたフェース 5.11

こちらは一転してハンガーボルトのスポーツルート。核心の2P目はなかなかハードでした。暑かったせいもありかなり難しく感じました。(11dくらいか!?)  
グレードは関係なく楽しいフェースクライミングでした。ハンガーボルトの位置が、おそらくダブルロープ対応になっているせいかルートファインディングが難しいです。

### 感想

大山さんより、壁の概念、下降方法など丁寧親切に教えていただいたので助かりました。正面壁の同ルート下降は非常にリスクが高いと思いました。また、足尾の夕立もすごかったです！確かにあの地形では渡渉できなくなりますね。そのように概念や自然環境についてアドバイスしていただけたのはとてもよかったです。  
足尾、この1日でかなり好きになりました。

7月25日 エリア：ジャンダルム パートナー：稲葉さん

① リッジのルート

岩質はしっかりしていてかなり快適で楽しかったです！はじめての私に、概念がわかるようにとのご配慮、感謝です。

② マッチ箱のカンテルート 5.11 c

見栄えが良く、是非登って見たかったルートです。（大山さんが推薦してくれました。）難しい上に、逆光でもうちょっとで落ちそうでしたががんばりました。オンサイトで気分最高！これは☆☆☆ルートですね。この時は12aくらいに感じました。

③ 右側のすっきりしたフェース

3本ほど登りました。クラックが発達しているのでトラッドでも楽しめました。最後にトライした「バースト」は、ほんとにバーストしそうになりました。なかなかおもしろいルートが揃っていました。

感想

ジャンダルムは、ゲレンデ感覚で行ける岩場として気に入りました。岩も固くてすっきりしています。また行ってみたいところです。

下部に点在するボルダーも気になりますね。

## 2、運営について

とても楽しい2日間でした。とても満足しております。夜の部もとても楽しかったです。クラミング後のスイカはとてもおいしかったです。とにかくありがとうございました。

## 3、感想

飛び入りで参加させていただきました。あたたかくサポートしていただきましてとても充実した2日間をおくれました。参加者の皆さん、久池井さん、ありがとうございました。

いろいろなクライマーズミーティングが各地で開催されるとなれば嬉しいなあ、と思っていました。今回の試みは個人的にも喜ばしいことです。肩を張らずに気楽に集まれる機会としてのミーティングはいいものですね。

WCMは今冬で数えて3回目を迎えました。毎回、1/4程度はメンバーが入れ替わっていますがなんとなく万ねり感がただよってきました。新鮮な風もいいものかもしれません。次回も是非声をかけてください。

では、またお会いいたしましょう！

## 6. 今後の課題

持続可能なイベントとして、どうすれば良いのか。参加メンバーの条件、開催時期そして主催者側の負担軽減等々が今後の課題であるだろう。参加メンバーの条件で言うならば、無条件に門戸を広げることは事故リスクを大きくするが、一方で、条件を厳しくすると参加者メンバーは限られてしまう。開催時期も重要な課題であり、参加しやすい時期を検討



しなくてはならない。主催者側の負担軽減の件は、ミソジ・大山さんの意見にあるように、各山岳会の持ち回りが無難かもしれない。何よりも、各山岳会にて、普段からの活動を活発にすることが前提である。それができれば、自然とこのクライマーズミーティングの活動内容も多少の障害はあったとしても、もっと自由に発展するであろう。

## 7. 最後に

最近、自分は、諸先輩方のクライミングの情熱をきちんと受け継ぎ、それを後輩にちゃんと託せているだろうかと思う。過去、ローカルな栃木のクライマーにも、武勇伝的逸話は数知れず。

今は、そういう時代ではないのかもしれませんが、人をワクワクさせる逸話だけでも、一人でも多くのクライマーに話すことができたらと思っています。今回も、そんな機会の場合として、提供できたらと思っていました。残念ながら、当日は、参加できなくなってしまいました。今後、参加された皆様が、自分の所属する山岳会で、新たなモチベーションを高めるきっかけになったら幸いです。

なんか、偉そうなことを書きましたが、クライミングは下手でも楽しくて、たまには、このドキドキ感、ワクワク感をクライマー同士で、もっと共有できたら楽しいな、理解できる同志が増えたらもっと楽しいな、と思っている今日この頃です。

## 8. 謝辞

今回の TCM 開催にあたり、多くの関係者の皆様のご理解・ご協力がありました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

## 9. 参考 (クライマーズミーティング案内)

---

### 栃木クライマーズミーティングの案内

有志代表 久池井 豊 (宇都宮溪嶺会)

#### 趣旨

栃木県を拠点として活動する有志による、アルパインクライミングの活性化を目的とした交流の場として、実際の登攀を通じ、有意義な情報交換を行なう。

#### 参加条件

下記の各条件を満たすこととする。

- ・本会の趣旨に賛同していただけること
- ・山岳保険に加入していること
- ・山岳会に所属し、所属山岳会への計画書の提出および承認を得ること

- ・基本的なアルパインクライミングの経験者であること

### 安全に関して

原則として、自己責任である。

ただし、万一の事故発生時には全員で協力する。

### 日時

7月24-25日（雨天中止）

ただし、土曜か日曜の1日だけの参加も可能である。

### 場所

松木沢・ウメコバ沢（集合場所：足尾銅公園）

### 参加費

実費精算

### 備考

雨天の場合は、宇都宮市のサンカルチャークラブにて、スライドを用いての各自の山行報告会を行う。

\*参加希望の方は、7月2日（金）までに、別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、下記のメールアドレスまでお知らせ下さい。

### 連絡先

（略）

## 「栃木クライマーズミーティング」参加申込書

参加日： 7/24のみ                      7/25のみ                      両日  
（いずれかを丸で囲んで下さい）

氏名：

年齢：

所属山岳会：

山岳会下山連絡先：

住所：

電話番号：

緊急連絡先：

山岳保険の名前：

\*松木ウメコバ沢で登りたいルート：

(もし、よろしければご記入下さい。パートナー選考の参考にします。)